

1 活動名

文化遺産（中尊寺金色堂）の状況現地視察（平泉町）

2 調査目的

松本城を世界遺産にすべく努力しているが、実際の世界遺産とはどのようなものか感じたい。

3 調査の必要性

文化財の保存、世界遺産にするための対応

4 調査結果

(1) 実施日 平成30年10月19日

(2) 出席者 中島昌子 村上幸雄 上條俊道 宮坂郁夫 柿澤潔

(3) 詳細

ア 建物の保存

屋外に再現された金色堂は建立当初は屋外に建っていたが、建立の数十年後には建物を風雨から守るための「霧よけ」のような施設が造られ、やがて正応元年（1288年）鎌倉将軍惟康親王の命令で金色堂を外側からすっぽり包む形で覆堂が建設された。現在の金色堂覆堂は1965年に建設された鉄筋コンクリート造のもので、金色堂はこの覆堂内のガラスケースに収められ、温度・湿度が調整されている。

イ 世界遺産登録までの歩み

- ・平成9年 いわい文化観光振興実行委員会「平泉の文化遺産の世界遺産登録」をアピール
- ・平成10年 平泉町議会9月定例会において「世界文化遺産登録に向け、推進本部設置」
- ・平成19年 世界遺産登録へ向けた史跡追加指定のための住民説明会等
- ・平成23年6月に世界遺産登録決定まで14年の歳月がかかっている

5 所感

世界遺産に決定されるまで長年の歳月がかかっている。地元住民や県、国（文化庁等）及び国際専門家との打ち合わせや世界遺産講演会等多くの努力をしなければ世界遺産の決定は無いものと感じた。